

出東小学校 地域学校運営理事会だより

令和5年11月 発行

ごあいさつ

地域学校運営理事会 理事長 美多大宏

出東小学校の良き伝統に「あいさつ」「靴そろえ」「無言掃除」「廊下歩行」があります。特に「靴そろえ」「無言掃除」は、学校へ来られた方々が非常に感心されています。上級生が行う行動を下級生が見習い、自然とその色に染まっていくことは素晴らしいことです。校風と呼ばれる学校それぞれの雰囲気は、校舎に居る一人一人の行動や思いで作られています。さらに言えば、卒業した人・地域の方の思いもそこにあります。

来年は小学校開校150周年の年にあたります。この歴史の中で、昭和20年頃、児童数は1,000人を超えていたそうです。ご高齢の方に小学校時代のことを聞くと「斐川で出東小は何でも一番だったよ。」と、当時の思い出話をされます。その思いが受け継がれ、今年度の在校生約180人にも「出東小は何でも一番」を目指して頑張ってもらいたいと願っています

今後とも地域の皆様には、児童たちの健やかな成長のため、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事紹介と理事会報告

理事長	美多大宏	(出東地区教育後援会会長)
副理事長	中間敦司	(出東地区社会福祉協議会会長)
理事	持田幹男	(出東地区自治協会会長)
	永瀬聡	(出東コミュニティセンターセンター長)
	飯塚由美	(主任児童委員)
	植田義久	(出東地区青少年育成協議会会長)
	青戸京子	(出東こども園園長)
	高島浩希	(出東小学校PTA会長)
	今西龍二	(出東小学校PTA副会長)
	成合美樹	(出東小学校PTA副会長)
	秦康人	(出東小学校校長)

○第1回 理事会 (令和5年6月29日)

- 1 今年度の学校経営方針について
- 2 学校行事予定について
- 3 児童の学校生活の様子について
- 4 市費の配当予算について
- 5 今後の理事会の予定について
- 6 意見交換

○第2回 理事会 (令和5年9月26日)

任命書の交付

- 1 児童の学校生活の様子について
- 2 学校行事予定について
- 3 学力調査の結果について
- 4 市費配当予算の組み替えについて
- 5 今後の理事会の予定について
- 6 たよりの発行について
- 7 意見交換

【裏面に続く】

【意見交換の主な内容】

- 学校全体に温かさが感じられ、とても良い雰囲気である。授業にも落ち着いて、意欲的に参加している。子どもたちには、毎日笑顔で元気に学校に通ってほしい。
- 図書館がきれいに整理整頓されており、「行きたくなる」図書館だった。今後も計画的に児童の興味のある本や必要な本を購入し、図書館の利用率を高めてほしい。
- 場に応じた挨拶は、家庭や地域の役割も大きい。大人も子どもも一緒になって、明るい挨拶を交わす取組に力を入れていきたい。お互い顔見知りになると防犯上の効果も期待できる。
- 家庭状況や児童の個性も様々で、個に応じた対応の大変さがあると思われる。地域でできる協力を積極的にしていきたいので、プライバシーに配慮しながら相談してほしい。
- PTAの活動を保護者と教職員が連携して、楽しみながら行っていきたい。

～地域の「ひと・もの・こと」を学んでいます～



1年生は、サツマイモの苗植えや収穫で、中間敦司さんにお手伝いいただきました。苗植えでは「さつまいもの赤ちゃん（芽の部分）を土の上に出してね。」と分かりやすい表現で教えていただき、「赤ちゃん、どこ？」という子ども一人一人に丁寧に教えてくださいました。おかげで今年は大豊作。芋づるを引っ張っては、あちらこちらから大歓声が沸き起こりました。



2年生は、出東町探検に出かけました。様々な場所で出会う地域の方々に、大変お世話になりました。皆さんが各場所で真剣に子どもたちの質問に答えてくださり、仕事や地域に対する熱い思いを伝えてくださいました。「出東の町の人ともっと仲良くなれた！」と嬉しそうな子どもたちでした。



3年生は、社会科の「はたらく人とわたしたちの暮らし～農家の仕事～」で多久和農園さんに見学に行き、「きれいに、たくさんシクラメンをつくる工夫」について学習しました。「もっとたくさんの人に多久和さんの花を知ってほしい」という思いから、宣伝シールを作りました。



4年生は、社会科「斐川を水害から守った人々」で、新川が閉じられた後の水害対策に取り組み、奔走した地域の先人「植田元確」について学習しました。出東を守りたいという熱い思いをもって行動した元確の人生に、尊敬と感謝の念を抱く学習となりました。